

城陽市障がい者自立支援協議会

第 19 回 聴覚言語障がい支援部会報告書

報告者 部会長 聴覚障害者生活支援センター は一もにい 長山 綾

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 26 (2014) 年 2 月 5 日 午前 10 時～12 時
場 所	福祉センター 第 2 会議室
出席者	城陽市福祉課 相談支援事業所 は一もにい 手話通訳者の会・要約筆記奉仕委員会・手話サークル・要約筆記サークル 城陽ろうあ協会・城陽市難聴者協会
検討課題	1. 防災マニュアルについて 2. 親子手話教室について 3. 軽度難聴児補聴器助成について 4. その他

【議事録】

1. 防災マニュアルについて

- (1) 前回は引き続き印刷部数と印刷方法の検討を行った。
- (2) 700部印刷をすることとした。
- (3) 指定避難所、学校、福祉施設、議会、当事者団体、支援団体へ配布する。
- (4) 啓発活動に一環として、要望があれば説明会へ出向く。

2. 親子手話教室について

- (1) 次年度は、市内保育園・幼稚園へ出前講座として実施していきたい。
- (2) 実施前にアンケートを作成し、意向調査を行う。

3. 軽度難聴児補聴器助成制度について

- (1) 前向きに検討が進められている。(2月5日現在の情報)
*4月1日より、制度開始

4. その他

- (1) 手話や要約筆記を学んだ市職員の意識やスキルアップを図るために「手話できます」「筆談します」と書かれたバッジを配布してはどうか。